【新たに参加する5分野の効果の例】

分野	取組内容	参加による効果の例
広域 産業振興	・関西広域産業共創プラットフォームの推進 ・学校への特産農林水産物利用促進のための啓発 ・関西スタートアップ・エコシステムの推進 ・国内外への農林水産物の販路拡大等	・県内企業と関西の大学や研究機関、企業などとの共同研究、企業間連携により、県内企業のレベルアップにつながる ・県内企業が関西広域連合域内の公設試から技術支援を受けられるようになる ・構成府県と連携した国内外へのプロモーションにより、販路拡大や企業誘致につながる ・「関西を支える人材の確保・育成」により、新たな就業や起業につながる
広域医療	・ドクターへリによる広域救急医療体制の充実 ・災害医療に係る体制の構築・訓練の実施等 (今後、ドクターへリの夜間運航に向けた検 討、DPAT・DHEAT活動の推進、医療DX・ GXの推進等にも取り組む予定)	・衛星携帯電話やEMIS(イーミス)を活用した情報伝達訓練や「災害医療コーディネーター」のスキルアップや管内の災害医療拠点の情報を共有化する合同研修会などの参加により、災害医療人材の育成につながる
広域 環境保全	・地球温暖化対策の推進・広域連携による鳥獣被害対策の推進等	・環境保全施策に対し、関西広域連合全体で取り組むことで、県民等により啓発の効果を高められる・鳥獣対策で府県域を超えた施策が可能となる
資格試験・ 免許等	・准看護師・調理師・製菓衛生師試験の実施、 免許交付・毒物劇物取扱者・登録販売者試験の実施等	・県が実施していた試験事務(問題作成、願書の受付、採点、合格証交付等)を、関西 広域連合が一括して行うため、本県の事務が軽減 ・県の受験料より低額に抑えられているものがあり、受験者の費用負担も軽減
広域 職員研修	·政策形成能力研修の実施 ·WEB型研修の実施 等	・職員のスキルアップのみならず、他の構成府県市の職員との交流を通じて、新たなアイデア・知見を得ることができるなどのメリットがある